



2019年7月11日

各位

会社名 株式会社ノムラシステムコーポレーション
代表者名 代表取締役 野村 芳光
(コード番号：3940 東証第1部)
問合せ先 執行役員管理部長 加藤 勝久
(TEL. 03-6277-0133)

2019年12月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2019年2月13日に公表した「平成30年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載している2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の第2四半期の業績予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正
(2019年1月1日～2019年6月30日)

【個別】

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回公表予想 (A)	1,232	133	133	90	15円87銭
今回修正予想 (B)	1,229	173	182	123	21円53銭
増減額 (B-A)	△3	41	49	33	
増減率 (%)	△0.3	30.8	37.2	36.0	
(参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	1,262	191	195	124	21円90銭

2. 修正の理由

2019年12月期の第2四半期の個別業績につきましては、売上高が、FIS（一次請け）において、案件は堅調に推移しているものの計画に対しては下回る結果となりましたが、プライム（元請け案件）において、新規案件の受注と既存取引先の追加開発案件の受注が総じて前倒しに進んだことから計画より上回る見込みであります。以上の結果、売上高全体としては計画より若干下回る見込みであります。売上総利益について、粗利益率が高いプライムの売上高が計画を上回ったことや外注費等の売上原価が計画を下回ったことから売上総利益は計画を大きく上回り、また、販売費および一般管理費が計画を下回ったことから営業利益、経常利益、四半期純利益ともに当初業績予想を上回る見込みとなりました。

第3四半期以降につきましては、引き続きFISおよびプライムの受注獲得に注力していく所存ですが、受注時期については不確定な部分もあり、2019年2月13日に発表いたしました通期業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当期業績予想の修正はありません。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって上記数値と異なる可能性があります。

以上